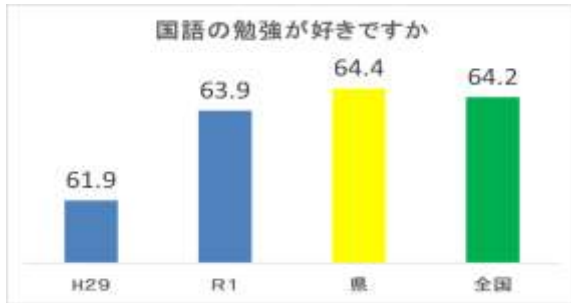


全国学力・学習状況調査には、国語、算数・数学等の学力調査の他、児童・生徒質問紙および学校質問紙があります。この質問紙調査では、児童生徒の学校や家庭における学習状況や各学校での指導の様子がわかります。

質問紙調査の結果分析より《児童・生徒質問紙》

【学習に対する関心・意欲・態度】

★教科の学習が好きですか 《小学校》



★教科の学習は大切だと思いますか《小学校》



★教科の学習がよく分かりますか 《小学校》

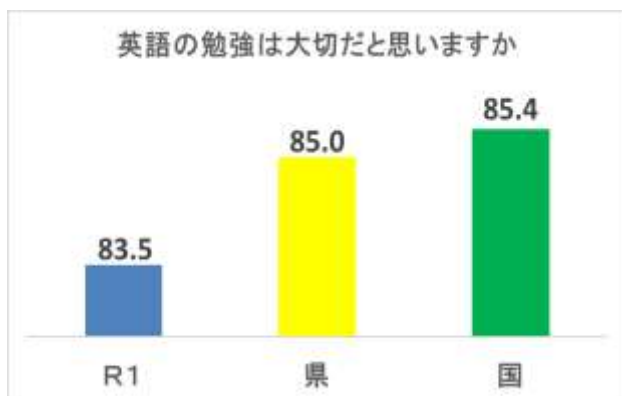
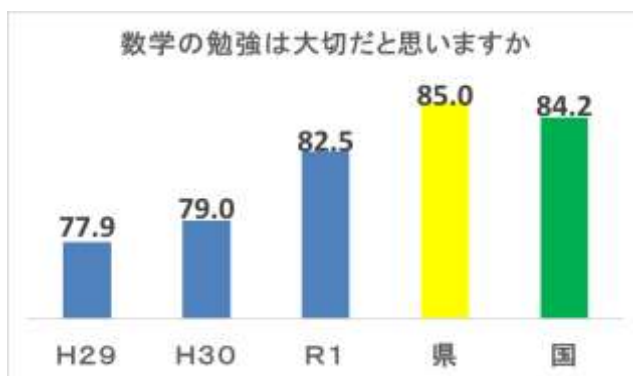


★教科の学習が好きですか 《中学校》

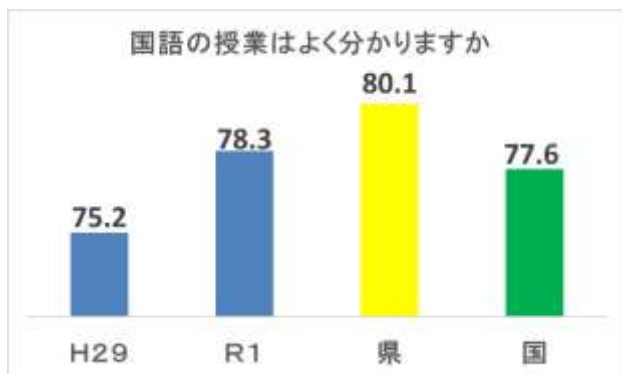


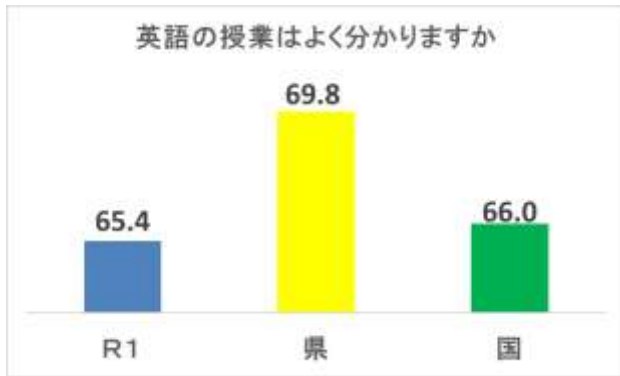


★教科の学習は大切だと思いますか《中学校》



★教科の学習がよくわかりますか 《中学校》





小学校では、国語科、算数科で「好き」と回答した児童が前回より増加し、国語科では全国平均とほぼ同じ、算数科では全国平均より高い数値になっています。また、授業が「大切」「よくわかる」と回答した児童の割合は、全国平均を上回っているか、ほぼ同じ数値となっています。先生が一方向的に教え込む講義型の授業から、子供たちの興味・関心を大切にした授業への授業改善が進んできた成果が表れてきていると思われます。

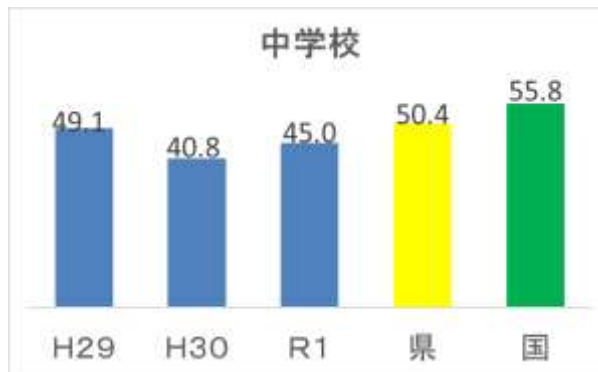
中学校では、国語科、数学科で「好き」の割合が前回より増加しました。「大切」と回答した割合は、全国平均をまだ下回っていますが、徐々に数値は高くなっています。「よくわかる」では、国語科・数学科で全国平均を上回り、英語でもほぼ同じ数値となっています。生徒の興味・関心に目を向けた授業への転換が進んでいる傾向がみられます。今後も、生徒の興味・関心を高めながら、学習内容を習得できるよう取り組んでいく必要があります。

【学校の指導・取組】

★課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか



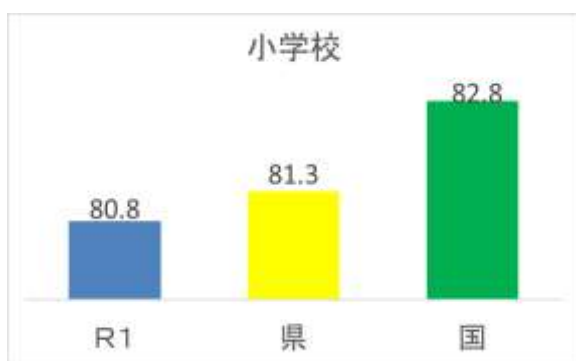
★自分で考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



★話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



★授業で学んだことを、他の学習に生かしていますか



【調査に対する意識】

★最後まで解答を書こうと努力した



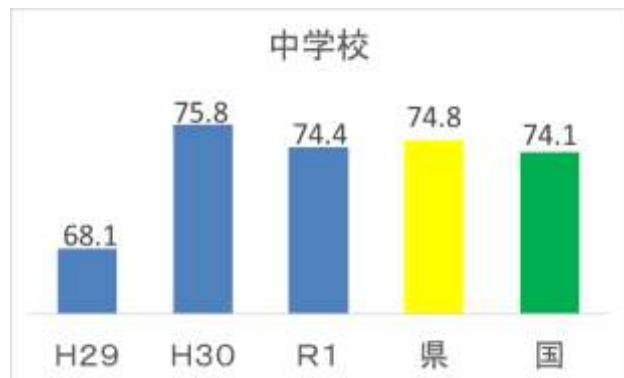


「児童生徒が目的意識を持って主体的に活躍できる授業づくり」の中で、「子供たちが自分の考えを活用すること」については、まだまだ課題が見られます。授業内容に関する項目では、小中学校ともまだ全国平均と比べると低い結果となっています。

小学校国語科、算数科ともに「最後まで解答を書こうと努力した」割合は全国平均より高くなり、中学校国語科、数学科は昨年度より数値は高くなりましたが、全国平均を下回りました。

【児童生徒の規範意識】

★自分にはよいところがあると思いますか



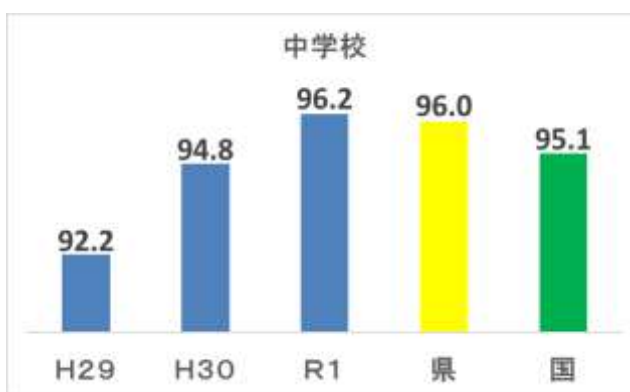
★人の役に立つ人間になりたいと思いますか



★学校のきまりを守っていますか



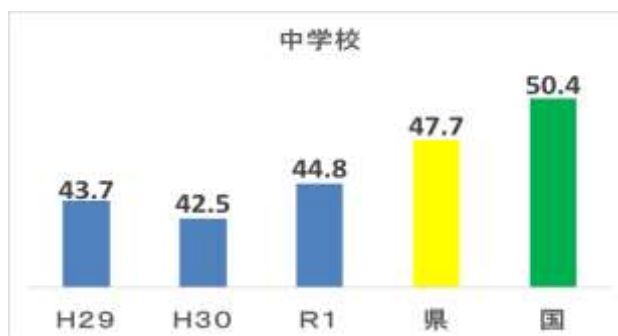
★いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



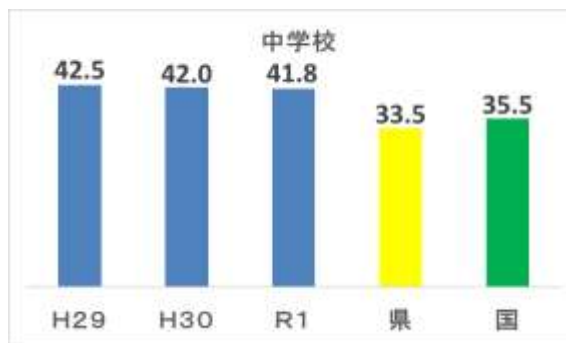
「自分にはよいところがあるか」「人の役に立つ人間になりたいか」の項目については、小中学校で今年度も高い数値を維持しており、中学校の「人の役に立つ人間になりたいか」以外は全国平均を上回りました。「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」という項目では、小中学校とも高い数値で全国平均を上回り、各校で学校全体での子供たちのいじめに対する日頃の取組みの成果が表れてきています。

【家庭学習】

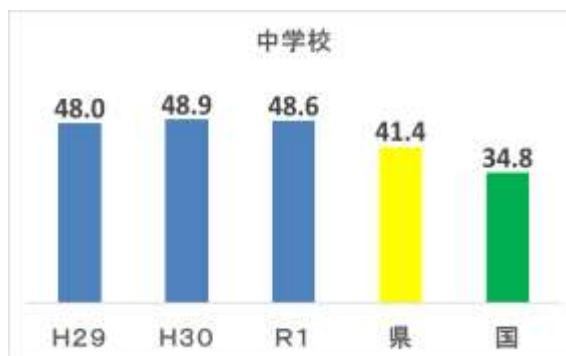
★家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



★授業以外に普段（月～金）、1日当たり2時間以上勉強しますか（塾、家庭教師を含む）



★授業以外に普段（月～金）、1日当たり全く読書をしない（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

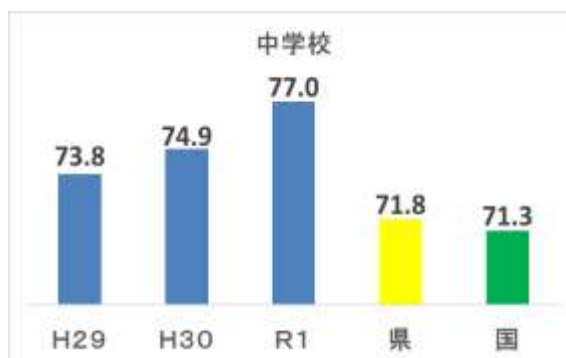
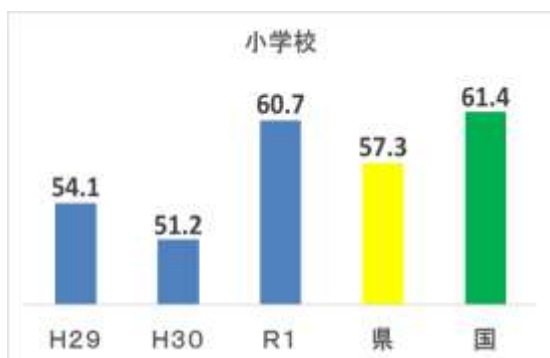


【社会への関心】

★地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか



★新聞を全く読まない



「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の項目については、昨年度より数値は高くなりましたが、まだ小中学校ともに全国平均を下回っています。しかし、平日の勉強時間については、小中学校ともに全国平均を大きく上回っています。家庭学習の定着については内容などを含め、今後も継続して取り組んでいく必要があります。

「1日当たり全く読書をしない」「新聞を全く読まない」では、全国的にも課題となっていますが、本市でも年齢が上がるにつれ数値が高くなっており、紙媒体での活字離れが大きな課題となっています。